株式会社プレイド

事例概要

グーグルからのマイノリティ出資を受入れ、技術支援を受けることで自社プロダクトの機能強化を実現

- 顧客分析のプラットフォームを提供するプレイドは、他社が模倣困難な技術を磨いていたことにより、グーグルからの評価を受け、グーグルからのマイノリティ出資を受け入れた。
- 出資者からの支援を受けることで、自社プロダクトの機能強化や新サービスの開発、顧客開拓を推進し、売上高の増加を実現するとともに、コンサルティングサービスにおいても協業を推進している。

具体的な行動

✓ 他社が模倣困難なコア技術を活用した自社プロダクト（KARTE）の機能強化を図り、更なる顧客開拓を行うことを自社の戦略として目指していたが、**更なる成長を実現するため、国内に当時なかった新技術として AI 等を活用する方法を検討した。**（基本的行動 1）

✓ プレイドはグーグルのクラウドコンピュータサービス（GCP*）を KARTE に活用しており、グーグルとの**協働により自社プロダクトの強化に向けた技術支援を受けることができると判断**。グーグルも GCP を活用して SaaS プラットフォームを提供するプレイドに注目していた。そこで、双方の製品・サービスの紹介、グーグルからの技術支援を受けること等を目的に、グーグルとの協働を決断した。（基本的行動 2）

✓ 出資契約においては、**欧米的なハードな交渉が求められたが、プレイドとして求めるべき点は求め、IPO や会社の重要な意思決定に支障が生じうるような事項といった妥協できない点は妥協せず主張した。**また、両社の事業における補完関係や重複を考慮し、双方にメリット・意義がある協働になるよう慎重に検討を行った。（基本的行動 3）

✓ 協業におけるシナジー創出に向けて、**プレイドとグーグルの間で共通目標に基づく進捗管理を徹底**。例えば、KARTE の導入拡大に対しては、ターゲットとなりうる顧客を共同で洗い出し、週次で営業活動の進捗を確認することとした。（基本的行動 5）

✓ また、当初の目的であった技術開発に加え、営業の進捗管理などに関しても定期的に協議するなど、**グーグルとの多面的なかかわりを持つことで良好な関係性を構築し、相互に協力してビジネスを行うために密なコミュニケーションを取っている。**（基本的行動 5）

*Google Cloud Platform の略。

案件の概要

企業名（企業規模）	株式会社プレイド（中小企業・スタートアップ企業）
事業概要	顧客分析等に係る SaaS の開発・提供事業
出資者	グーグル（アメリカ）
公表日	2019 年 11 月
資本活用の類型	オーナー企業の資本受入れ（マイノリティ出資）
スキーム	優先株式の発行
取引額 （出資比率）	非公表